

■明けましておめでとうございます —今年が皆さんにとって良い年になることを、心よりお祈りします—
◆栄進生の皆さん、2023年、令和5年が明けました。新しい年のスタートです。新型コロナ変異株に用心する日が続くかもしれませんが、これまでに蓄積したものを良い成果につなげてほしいと思います。学校は生徒が元気なことが一番。皆さんが元気だと、私たち(教員)も元気になります。どうぞ、今年もよろしくお願いいたします。

◆3年次生へ………大学入学共通テスト目前！ <1月14日(土)・15日(日)>

新年から来月上旬の立春にかけては一年で最も寒く、風邪などで体調を崩しやすい時期です。こまめなうがい、手洗い、十分な睡眠・食事を心掛けて、体調管理にも気を配りましょう。共通テスト前日は、準備が完了したらできるだけ普段どおりの生活をしましょう。緊張して寝つけなくても、暗い部屋で横になって目をつぶっているだけでも体は休まります。テスト当日も緊張を感じたら、まずは深呼吸。鼻から吸って口でゆっくり吐くと、緊張がほぐれます。温かい飲み物など、気持ちが落ち着くアイテムを用意しておくのも一つの方法かと思います。緊張しているのはみんな一緒。今まで頑張ってきたことを思い返して、自信をもってテストに向かいましょう。

- 共通テスト当日に持って行くものをもう一度確認しよう。持って行く参考書も、新たに覚えるのではなく覚えたことを呼び覚ますということを中心に選ぼう。前日はマスク越しに適度なおしゃべりをして、楽しくご飯を食べ、早めにお風呂に入って寝ましょう。
- 服の着脱による温度調整ができるように準備しよう。寒いので、防寒はもちろんですが、注意して欲しいのはテスト会場が暑すぎる場合にちゃんと上着を脱いで体温を調整できる格好で共通テストに臨むことです。「暖房の十分効いた部屋の格好+ちょっと寒い部屋用の上着+外での防寒着」のように3段階の温度調整ができるようにしておきましょう。
- テスト会場には十分な余裕を持って到着すること。当たり前ですが、こういう当たり前のことが平常心を保証してくれます。
- テスト1日目の気分を引きずらないこと！ 1日目終了後、仲間と愚痴や冗談をマスク越しに言い合うなどしてストレスを解消したり、お風呂に入ってちょっと独り言を口に出したりするのも一考です。

◆神様も味方につけて、合格の栄冠を勝ち取ろう！

密を避け、昨年末、筆者は同業の志と学問の神様、菅原道真公を祭る東京の湯島天神(湯島天満宮)に行き、牛久栄進高3年次生全員の合格をお願いしてきました。コロナ禍のため年内に参拝する「さいききもつで幸先詣」で訪れる人も多く、境内は混み合っていました。北西風がやや強く、梅もつぼみで開花にはまだ早いようでしたが、快晴で天候に恵まれ、満足感のある1日となりました。これで皆さんが合格したらもっとHappyです。

学問の神様として広く信仰されている菅原道真ですが、彼が生涯一貫したのは「心を正しくもって日々を真剣に生きよ」という誠の心だそうです。平安期も令和の世も大切なものは確実に受け継がれていくようです。湯島天神では、毎春、JA愛媛から地元特産の「いよかん」をいただき、参拝者にふるまいます(今年は1月8日)。同社で特別にお祓いを受けたありがたい「いよかん」。これを仮想的にでもお祀りすれば、それにふさわしい御利益がきっとあることでしょう。このいよかんのように“いい予感”が3年次生の皆さん全員に届きますように。



【目標に向かって】

- ・いま ここで頑張らずに いつ頑張る
- ・今日なし得る事に全力を尽くせ
- ・学問に王道なし 努力はすべての扉を開く
- ・いろいろな困難があっても志を失わず 最後までやり遂げる精神を持つ
- ・涙あってこそ 努力あってこそ 栄光という結果が輝く



(湯島天満宮「学業札」より)

■2年次生へ……………1月進研模試はこれまでとは“別物”

3年生への入口

2年間の学力を総点検

難易度は上昇

真の力が試される

下表を見てください。これまでとこれからの進研模試について、名称、国数英の配点と試験時間をまとめたものです。今週、1月13日(金)・14日(土)に2年次生が受験する1月進研模試からその内容が変化していることに気づくと思います。模擬試験というからには、共通テスト本番と同様の配点、試験時間でなければなりません。実は本当の意味で模試と呼べるのは、1月進研模試からなのです。2年次生の皆さん、すでに1年先の目標を見据えて取り組むべき時期がきています。この冬こそ、学習時間を増やして“受験”に本格参戦です。

	名称	国語	数学	英語	受験者数
1年7月	総合学力テスト	100点(60分)	100点(80分)	100点(60分)	44.9万人
11月	総合学力テスト	100点(80分)	100点(100分)	100点(80分)	46.5万人
1月	総合学力テスト	100点(80分)	100点(100分)	100点(80分)	37.8万人
2年7月	総合学力テスト	100点(80分)	100点(100分)	100点(80分)	45.6万人
11月	総合学力テスト	100点(80分)	100点(100分)	100点(80分)	47.0万人
★ 1月	総合学力テスト	200点(90分)	200点(120分)	200点(90分)	33.7万人
3年4月	総合学力記述模試	200点(100分)	200点(120分)	200点(100分)	16.3万人
7月	総合学力記述模試	200点(100分)	200点(120分)	200点(100分)	36.1万人
10月	記述模試〔駿台共催〕	200点(100分)	200点(120分)	200点(100分)	30.6万人

※受験者数は2021年度。全国集計以降の追加人数は含まれない。

2年1月進研模試は、基礎問題はなくなり、応用力や入試対応度を問う設問が増えます。本当の力が試されます。総合学力テストという名称こそ変わりませんが、これまでとは明らかに違います。全国の進学校も2年間の仕上がり具合を確認するために1月模試から本格参戦してきます。そうしたことも踏まえると別の会社の模試ととらえて臨んだ方がよさそうです。受験年次に向けて良い準備をして臨みたいところです。

●1月から進研模試のココが変わる

①位置づけが変わる……………進研模試の中での位置づけは「本格的な模擬試験」へ。

②配点、時間が変わる……………配点：国数英は従来の2倍に！

時間：本番の大学入試により近づく。

③設問が変わる

英語：入試に向けて、英文素材の抽象度が上がる。記述量も増える。

数学：小問集合がなくなり、全問記述式に。入試に向けて重要内容も出題される。

国語：記述量が増え、これまでの進研模試よりも入試対応度が上がる。



■1年次生へ……………ネジを巻き直し、良い習慣を身につけよう！ 学力の基盤をつくる“冬”に！

2023年も10日間が過ぎました。お正月で少し緩めたネジを巻き直しましょう。次年度へ向けて、文系・理系の初期指導も昨年末から始まっていることと思います。2年次は学力差がつき易いと言われます。その意味で、2年次への助走期間とも言えるこれからの3か月はとても大切です。展望や目的意識を持って取り組むことが、将来の進路を左右すると言っても良いでしょう。日常の小さなことの積み重ねが、最後に大きな差になってあらわれます。

冬休み前の全校集会(放送)で1年次生には「良い習慣を身につけてほしい」、そうお伝えしました。高校入学から10か月。皆さん個々に学習や生活の習慣が固まりつつある頃ではないでしょうか。1年生の時に身につけた習慣は3年まで続くといえます。1年次という年次は「高校生としての学習習慣や生活習慣」を身につけることが本当に大切です。

